



公益財団法人 財務会計基準機構会員

2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 J T P 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 為 田 光 昭
(証 券 コ ー ド : 2 4 8 8)
問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 伊 達 仁
(電 話 0 3 - 6 4 0 8 - 2 4 8 8)

**生成 AI 時代に必要な「問いを立てる力・見極める力」を身につける研修を提供開始 ～AI の出力を
業務成果につなげる判断・検証スキルを 1 日で習得～**

IT 人材育成に豊富な実績をもつ JTP 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：為田 光昭、以下「JTP」）は、生成 AI を業務で安全かつ効果的に活用するために必要なソフトスキルを習得する「生成 AI 時代の“問いを立てる力”・“見極める力”強化研修」（以下、本研修）を、2026 年 7 月 15 日より提供開始します。

本研修は、生成 AI を使う際に必要となる「問いの立て方」「出力の見極め」「情報検証」の基本を、実務課題を題材に学ぶ 1 日間の研修プログラムです。受講者は、AI に対して目的や前提を明確に伝える力に加え、生成された回答の正確性・妥当性・業務適合性を判断し、必要に応じて修正・採用・保留・却下を判断する力を身につけます。

■ 背景

近年、生成 AI は文章作成、要約、調査補助、企画案作成、資料作成など、さまざまな業務に活用されるようになり、企業活動における生産性向上の手段として期待が高まっています。一方で、生成 AI の出力には、事実誤認、古い情報、出典不明の主張、過度な一般化、社内文脈との不一致、機密情報や知的財産に関するリスクが含まれる可能性があります。生成 AI を業務に活用するうえでは、単に AI へうまく指示を出す「プロンプト力」だけでは不十分です。AI が生成した内容をそのまま受け取るのではなく、出力が正しいか、根拠があるか、自社の業務・顧客・規程に合っているかを確認し、採用すべきかどうかを判断する力が求められます。

2026 年 5 月に米国ロサンゼルスで開催された人材育成に関するカンファレンス「ATD 2026 International Conference & EXPO」では、AI の進化は単なる業務効率化ではなく、人間が「何を判断し、何を次世代に残すのか」を問い直す契機であるという視点が示されました。また、AI が高度な知識処理を担う時代には、人間の価値は「知っていること」から「どう判断し、どう関わり、どの未来を選ぶか」へ移行するとされています。

こうした環境変化を踏まえ、企業における生成 AI 活用を成果につなげるためには、AI ツールの操作方法だけでなく、問いを立てる力、情報を検証する力、出力を見極める力、判断の理由を説明する力といったソフトスキルの育成が不可欠です。

JTP は、長年にわたる IT 人材育成の知見と、生成 AI 関連研修・AI 活用支援の実績をもとに、全社員が生成 AI を安全かつ効果的に活用できる状態を目指し、本研修を新たに提供します。製品の概要

■ 研修概要

本研修では、生成 AI を業務で活用する際に必要な「問いを立てる力」と「見極める力」を、実務に近い演習を通じて身につけます。AI を便利な回答生成ツールとして使うだけでなく、業務目的に沿って問いを設計し、AI の出力を検証・評価・改善しながら成果につなげる考え方を学びます。

- 期間：1 日間
- 実施形態：対面／オンライン
- 推奨受講者数：1 開催あたり最大 20 名
- 形式：講義、個人ワーク、グループワーク、実務課題を題材にした演習
- 対象者：生成 AI を業務で活用したい全ビジネスパーソン、DX 推進担当者、人材育成担当者、管理職・リーダー層

<主な研修内容>

1. 生成 AI 時代に求められるスキルの理解

生成 AI の進化によって、業務の進め方や人に求められる役割がどのように変化しているかを学びます。AI が得意なこと、人が担うべき判断、AI 活用に伴うリスクを整理し、生成 AI を使ううえで必要となるソフトスキルの全体像を理解します。

－ 問いを立てる力

AI から有用な回答を得るためには、目的、前提、制約、期待する成果物を明確にしたうえで問いを設計することが重要です。本パートでは、業務課題を AI に伝わる形に整理し、曖昧な依頼を具体的に再現性のある指示へ変換する方法を学びます。

－ 出力を見極める力

生成 AI の出力をそのまま採用するのではなく、事実、論理、表現、業務適合性、リスクの観点から確認する方法を学びます。出力を「採用する」「修正する」「保留する」「却下する」といった判断につなげるためのチェック観点を整理します。

－ 情報検証力

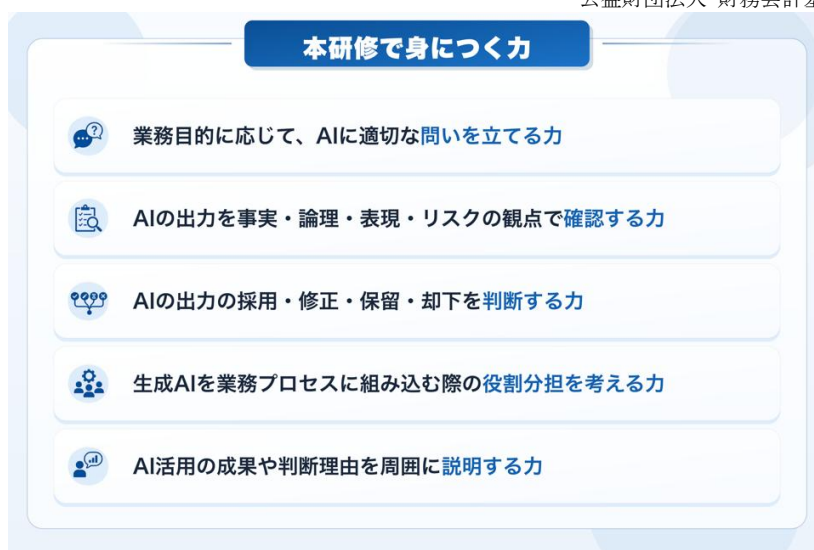
AI の回答には、誤情報や古い情報、根拠が曖昧な主張が含まれる場合があります。本パートでは、一次情報や社内資料との照合、出典確認、前提条件の確認など、業務で信頼できる情報として扱うための検証方法を学びます。

2. 実務適用ワークショップ

受講者自身の業務を題材に、生成 AI をどのように活用できるかを検討します。問いの設計、AI 出力の評価、改善指示、最終判断までを一連の流れで体験し、研修後すぐに実務へ活かせる活用イメージを具体化します。

カリキュラムの詳細は、下記のページをご確認ください。

https://edu.jtp.co.jp/archives/colum/ai_softskill



今後 JTP は、先進的な IoT 技術を活用した介護現場の業務効率化支援により、限られた人材での質の高いケアの実現、職員の離職抑制や人材確保にも寄与し、業界の課題解決に貢献します。

【JTP 株式会社について】

JTP 株式会社は、日本に進出する海外の IT ベンダーやライフサイエンスメーカー向けに、テクニカルサポート、トレーニングなどの技術サービスを提供する会社として、1987 年に設立されました。ミッションに「Connect to the Future」を掲げ、幅広い企業のニーズに対して IT システム設計・構築・運用・保守サービスや、サイバーセキュリティサービス、人財育成コンサルティングサービスのほか、人工知能の導入によりビジネスにおける顧客接点の最適化を実現するソリューション「Third AI」を提供しています。

【本リリースに関する問い合わせ】

JTP 株式会社 コーポレート本部

E-mail : pr@jtp.co.jp

以上